

歐米の保育狀況(二)

大阪市船場幼稚園長 上 島 直 之

四、文字數、を取扱ふ事

我國の幼稚園では、文字數を取扱ふ事を研究されて居るやうであるが、未が十分でないと思ふ。無理に文字、數を數へる事は勿論慎まねばならぬが、小供が之を知る事を要求する時に適當な方法で知らず知らずに覺へさす事は決して害あるのみならず望ましい事と思ふ。歐米では此方面には可なり進んで居るのである以下實例について述べる。

I、ベルリンの幼稚園

厚紙に數字を金剛砂にて書きしものに指にて觸れてはその下に其數字の示す數丈け小石を列べる事。……これによれば知らず知らずに數字の形と數とを知る事が出来る。

同上アルハベットを書きしものに觸れて發音する。……アルハベットの形と發音とを知る。

切抜のアルハベットを並べて言葉を作る事。……發音を聽き分け言葉の綴を知る。

2、ロンドンの幼學校

前述べた様に英國では學校並に取扱つて居るから、此方面は少しく進み過ぎた位である。それでも無理はないやうである。

教科を擧げて見ると、

ベビークラス(三歳—五歳)、遊戯、唱歌、御話、手工等。

上級、以上の他に讀方、書方、算術。机の排列も學技の如く、各種カード、繪畫、玩具等を使用して、自ら文字を習ひ、作文し、計算し得るやうに導く所は我國の幼稚園と異り、教ふる事を主とし、其教へ方を幼兒に適するやうにして居る。

〔ベビークラスの例〕

繪畫のカードと其繪の名稱の頭文字(アルハベットの切抜)とを合はす事。例へば傘の繪あればU、徳利の繪なればBと合はずが如し。

發音に伴ひて、切抜文字を並べて言葉を綴ること。

數字のカードと實物とを對照して加法を行ふこと。

$$\begin{array}{|c|} \hline 2 \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline 3 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 5 \\ \hline \end{array}$$

〔上級〕

各兒の與へられたカードにより、算術、作文、讀方等をする。

〔作文の例〕

「犬に就ての話。」「汝の最も好む所の物に就て。」又「もし御前が御前でないならば、何になりたいと思ふか。」の如き困難な題も見當つだが何れも能力に應じてすらすら書いて居る。

〔算術は〕

四個の數の加算簡單な減法、乘法迄も進んで居るのがある。何れも實物と對照し得る様になつて居る。例へば八の二倍に於て豆を八個づゝ二個の箱に入れて、合して十六となる事を試し得る様に。

3、紐育ホレースマンの幼稚園

歐米の保育狀況(二)

此園では讀方、書方、數等を材料の中に入れて居る。

讀方……

讀方先生や兒童によつて話される物語を聽く。

先生や兒童の讀む話を聽く。

此等は讀方の興味を刺戟する。

詩歌、散文、物語等を繰り返へして讀む。

認知せしむるもの、(文字を自然に覚えさせ)

特別な書物の名稱。

書物中の物談の題。

材料入れ箱の名稱。

著音器レコードの名稱。

圖畫及他の作業に於ける印刷した又書いた名稱及頭文字。

繪畫の説明の印刷文字。

必要な告示の文字、……危険。觸るな。入るべからず。出口等。

簡単な 明のある繪本。

書方……

寫字。

思想を現はし、簡単な話を現はす爲に畫を くこと。

一定の字を寫すこと。等。

而して此等は多く黑板又は大な紙に大書して、全腕の運動を爲さしめて居る。

數……

下級では主として日常保育材料より數量的觀念を得しめ、特別な取扱は少い。

大さ、量の相違

兒童、椅子の大を比較する。

大小各種の物を持ちて遊ぶ。

ランチの時コップの水量に注意する。

〔時〕

一定の時に、或活動をなす事（例へば、園に來る時、ランチの時等實際上より時の基本觀念を得しめる。）

靴を早く換へよ等遲速を知らしめる。

〔數へる事〕

ランチの時にナフキンや皿を數へる。

作業する時に材料の數を數へる。

誕生日に年齢を言ふ。等。

上級では稍計畫的になる。

〔大さ、量の相違〕

適當な大さの椅子を見出す。

或仕事をする時其れに要する大約の量大さを採る等。

〔形の相違〕

種々の形の材料を以て作業する。

〔計る事〕

仕事の材料を計る。(例へば人形の着物、木工の時の木材)

兒童の體重を測る。

粗土細工の重さを手又は衡で測る。

ランチの時色々の大きさのコップを用ふる。

〔空間及時〕

或距離を告げる。(例へば學校から住所まで)

遠足の時如何程歩みしか知らず。

或仕事をする時。時計を見て一定の時間内になし終る。

時計を持つ。等。

〔計 算〕

保育材料の各種のものを數へる。

遊戯の時號令をかける。等。

〔序 數〕

第一の戸棚、第三の棚等によりて。

〔分 數〕

ランチの時リンゴ等を二分の一、四分の一に分る。コップに半分牛乳をつぐ等によりて。

〔金錢の用法〕

販賣の物品の價をつけ之を賣る事。(此圖では一年一回慈善事業の爲めペザーを賣く)

貧困兒救済の爲錢を持つてくる。等。

數を讀むこと。

數を書くこと。

五、公民訓練を重んずる事

彼地の學校に於ては非常に公民的訓練を重んじて居る。社會の秩序整然たる、公衆道德の徹底せると相俟つて羨ましい迄に此訓練は行き届いて居る。此等の國は多く普通選舉を實施して居るから、全體の個人が公民的心得公民的良心がなければ敗治は忽ち腐敗するのである。特に米國の如き種々の人種の寄合である國には一層此方面の訓練を必要とする。従つて公民教育は米國が最も優れて居るやうである。幼稚園に於ても英獨も此方面の注意を觀過して居るのではないが、米國に比して薄いやうに思はれる。大體前述の實際例によつて公民訓練の一斑は何ばれる思ふが、茲には一例として紐育ホレスマン幼稚園の方針中此問題に觸れて條項を擧げて、如何に公民訓練を重んじて居るかを示さう。

1、社會組織は精神に於てデモクラチックであらねばならぬから。

イ、權力、指導、參與、協力を理解せしめ。

ロ、兒童が全組織及團體に對する責任感を段々に了解せしむべき機會を作らねばならぬ。

2、此年齢の兒童に向つての道德的訓練の大部分は社會に適合すると云ふ事である。教師はこの訓練に對し又從順、尊敬の如き習慣、態度を養成するの必要を自覺せねばならぬ。

3、兒童は指導者として又後輩として團體中で如何に調和的に働くべきかを習はねばならぬ。又時には團體の爲に自己の興味を壓へねばならぬ。

此等の精神は共同作業、ランチの時によく實際に現はれて居るのを見た。

六、むすび

前述の四項中第一の兒童數の問題は經濟上の關係もありて、吾人の思ふ様には行かぬが、理想としては一保姆の擔任數は二十名以下にある事を望む。

個別的取扱特に幼兒を自發的に働かす事、型に倣つた恩物使用以外に實生活から生命ある材料を採り來る事、團體生活に適應せしむべき公民的訓練は我國の幼稚園に於て考慮すべき養地ありと思ふ。

最後に最も切望する幼稚園と小學校との連絡である。我國の幼稚園と小學校程懸隔の甚しいものはない。幼稚園では極めて自由に、よく個性を観察して、行き届いた保育をして居るのに、彼等が一年に入るや否や、自由を束縛し、嚴格な訓練の下に一齊的に教授せんとする。兒童にとつて見れば僅か數日の差で、此の驚くべき變化に會ひ如何に感ずるであらう。この罪は寧ろ小學校側に多い様であるが、幼稚園に於ても一層小學校の基礎としての考を持ち、段々と訓練に於て小學校に近づけると共に保育材料中に無理をせない範圍で文字、數を稍々系統的に取扱ふやうにしたいものである。勿論小學校の下學年の取扱を幼稚園に近づける事も必要である。兩方より歩み寄りて此連絡を自然にする事は目下の急務と信ずる。

以上雜駁な事を述べたが幾分でも讀者諸氏の参考となれば幸である。